

第3回 大橋よしひさ後援会主催バス旅行 報告

4月11日、大橋よしひさ後援会主催第3回バス旅行が行われました。当日は天気にも恵まれ、行楽日和となりました。52名(満員)の参加者とともに、おかめ納豆の「タカノフーズ」、明太子の「かねふく」の工場見学を行い、「ひたちなかお魚市場」、「ひたち海浜公園」という行程を楽しむことができました。車内ではビンゴなどで、とても楽しい一日を過ごすことができました。

みなさまと親睦できる機会を今後も大切にしていきたいと思っております。



〈 みなさんからいただいた声 〉

「通学路が危険です」 「体育館は作らないのですか」

「用水路沿いに転落防止用のフェンスを設置してください」 などです。

皆さまからの声、引き続きお待ちしております。34-7392 までお寄せください。

〈 第12回大橋よしひさ町政報告会 & 懇親会 〉

第12回となる「大橋よしひさ町政報告会」と、後援会主催の「懇親会」(会費1,000円)を、下記の日程で行います。どうぞお気軽にお越しください。

大橋よしひさ第12回町政報告会	懇親会
とき : 7月12日(土)	とき : 7月12日(土)
時間 : 午前10時 ~ 正午	時間 : 午後1時 ~
場所 : カルスタすぎと集会室2	場所 : まねきねこ杉戸店

大橋 芳久 (よしひさ) プロフィール

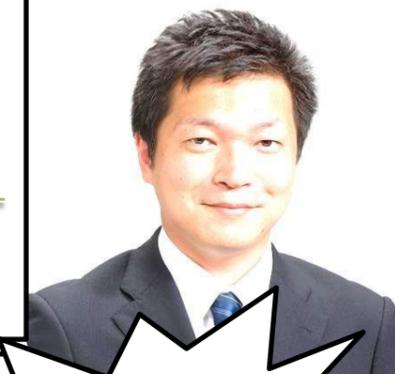
昭和55年12月27日 杉戸町生まれ	家族:妻と愛犬
杉戸小学校、杉戸中学校卒	趣味:読書、旅
県立越谷北高校卒	好きな作家:村上春樹・三浦綾子
明治大学経営学部経営学科卒	小さいころの夢:電車の運転手
大手塾講師を経て学習塾「向学館」独立開業	ストレス解消法:おしゃべり
杉戸町議会議員 (現在1期)	

杉戸町議会議員

平成26年7月号

大橋よしひさレポート

第20号



発行元 大橋よしひさ後援会
ところ: 杉戸町内田 1-2-8 連絡先: 0480-34-7363
e-mail: oohashi_in_sugito@yahoo.co.jp

ブログも更新
しています!!

平成26年度6月議会開催!

補正予算・条例改正等8議案と請願審議!

6月定例会が6月5日から20日までの日程で開かれました。主な内容は次の通りです。

① 2月の大雪被害の対策

- 1 役場庁舎が水浸しになりサーバー等のダウン、庁舎屋根改修工事に **2,700万円**。
- 2 ビニルハウスなどの倒壊等に対する復旧補助、5件で **195万円**。

② 給食センター調理機器の購入

スチームコンベクションオーブン3台・連続フライヤー1台購入、**約2,471万円**。

③ 「すぎとピア」に指定管理者制度導入へ

管理が町ではなくなるため、人件費、**400万円の減**を見込む。

④ 消防団員の退職報奨金の引き上げ

消防団員の退職報奨金を1人あたり **5万円引き上げ**。

- (例: 勤続4年以上5年未満の団員 129,000円 → 179,000円)
(団員の定員は134名。実数は132名で、充足率は98.5%)

都市ガス敷設工事を問う！

現在、中央地区では都市ガスの敷設工事が行われています。
敷設工事には道路工事を伴うことから舗装の問題や、その契約に関するトラブルが起きる可能性があります。町民はどう対処すべきかを問いました。

問(大橋)：今後、都市ガスの敷設工事はいつ、どこまで行われるのか。

答(都市施設整備課長)：内田、倉松地域の工事を現在行っています。平成30年度までに、清地1丁目～6丁目、杉戸1丁目～6丁目で行われる予定です。

大橋質問：契約に関するトラブル・相談はどこが窓口となるのか。

答(産業課長)：町の消費生活センターが窓口となる予定です。情報収集も行っています。

問(大橋)：道路の仮舗装の状態が悪いという声を耳にするが、把握しているのか。

答(都市施設整備課長)：道路パトロールを行うなどして点検しています。仮舗装の状態が悪ければ工事業者に改善を指導します。

問(大橋)：車ではなく、自転車を使った道路パトロールはできないか。

答(都市施設整備課長)：今後検討します。

問(大橋)：本舗装をいつするのかを明示することができないのか。

答(都市施設整備課長)：工事後30日以上地面をならせねばなりません。今後検討します。

問(大橋)：工事に関する周知はきちんと行われていると考えているのか。

答(都市施設整備課長)：道路占用の許可を出すときに、トラブルが起きないように周知するよう指導しています。周知する範囲やその方法に基準がないので、周知が不十分だと思われる場合があるかもしれません。きちんと行われているかまでは確認していません。

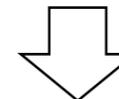
知っていますか？「すぎめー。」

「防災無線が聞こえない」という声があります。防災無線は、風向きや気象条件により聞こえ具合が左右されます。そこで、それを補うひとつの手段として、メール配信サービス「すぎめー。」があります。「すぎめー。」は、町内にいなくても町内の情報を受け取ることができ、さらに「防犯」「防災」「子育て」「健康」「イベント」「生活」などの分野から受け取りたい情報を選択して受け取ることができるサービスです。町H.P.や広報誌などで周知をしていますが、私が行ったアンケートでは、知っている人は1割もいませんでした。

問(大橋)：登録件数の推移と現在の登録件数、そしてその周知方法は。

答(住民参加推進課長)：本年1月現在1,418件の登録となっています。一年あたりの増加件数は約60件です。PRとして、広報誌に掲載(12回)しています。また、出前講座、自主防災組織連絡協議会の総会時などにおいてもPRしております。

広報誌に12回載せても1年で約60件しか登録者数は増えない…。そこで提案！



① マン・パワー(人の力)を使った普及促進を！

広報誌に載せたただけ、ホームページにアップしたただけで広報活動と言えるのか。広報誌を見ない・ホームページを見ない人には、人の力で普及させるしかない！

② 配信するだけでなく、受信もできるシステムに！

現状では町にメールするのに、担当課のアドレスを調べてメールしなければいけない。(←手間がかかる)。「～の防犯灯が切れている」「～の道路に穴が開いている」など、町民の声(メール)を一括して受信できるシステムに変更してはどうだろうか？

→ 検討しますとの答弁でした。今後の成り行きをチェックしていきます。

郷土愛を育む教育を！

問(大橋)：泉小では、古代祭りや土器づくりなど体験型の授業を行っている。「エコ・スポいずみ」が改修された後にできる遺跡の常設展示場で町内の小学生が土器づくりなどの体験学習する機会をつくることはできないか。

答(社会教育課長)：前向きに検討していきます。